

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 46 号

第 46 週(11月 9日 - 11月15日)

発行年月日:平成21年(2009年) 11月19日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

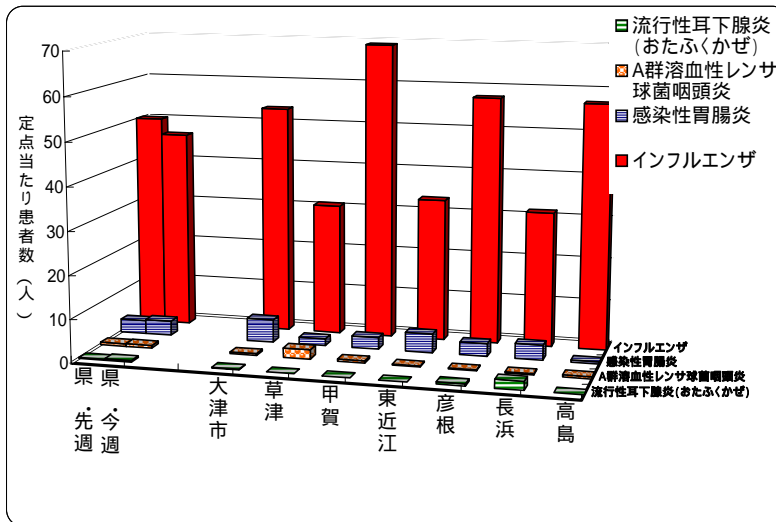
インフルエンザ警報は発令中!!
インフルエンザの発生はやや減少

定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週より減少し、特にインフルエンザで約10%減となっています。今週増加した疾患は、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は、インフルエンザ、水痘等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。また、インフルエンザの保健所管内別発生状況は、別紙グラフに示すとおりです。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、インフルエンザでは全ての保健所管内において警報発生基準値を超えており、第43週(10/19~10/25)以降県内全域にインフルエンザ警報が発令されています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名の届出がありました。

上位4疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第46週、定点当たり患者数)

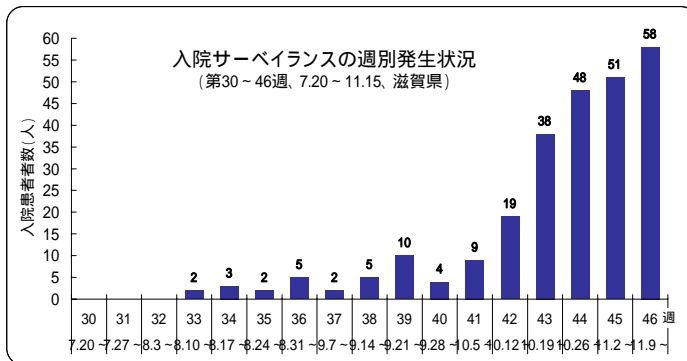


県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、の順に多くなっています。

インフルエンザでは、草津および東近江で先週より増加し、それぞれ1.5倍、1.4倍増となっています。

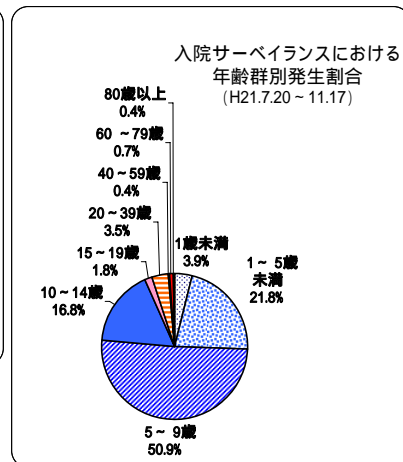
感染性胃腸炎では、甲賀および高島以外で先週より増加しています。

インフルエンザの入院サーベイランスにおける入院患者の発生状況



第30~46週の週別発生状況は上記グラフのとおりです。第47週(11/16~11/22)は11月17日現在で、入院患者数は29名となっています。

また、第30~47週(11/17現在)の年齢群別発生状況は左記のグラフのとおりです。



1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (46週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (46週)	全国 (46週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	226	22,690	282	28,419
三類感染症	コレラ	0	1	15	0	45
	細菌性赤痢	0	0	160	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	0	24	3,571	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	46	0	43
	A型肝炎	0	0	104	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	80	2	104
	マラリア	0	0	52	1	56
	レジオネラ症	0	8	591	10	893
五類感染症 ^注	アメーバ赤痢	0	9	672	10	872
	ウイルス性肝炎	0	2	191	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	120	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	90	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	8	1,232	11	1,568
	梅毒	0	2	601	5	839
	破傷風	0	3	104	5	123
	急性脳炎	0	6	333	1	190
	風しん	0	2	139	2	309
	麻しん	0	7	702	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)	0	138	12,317	-	-

*1:平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3:感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数です。

(注)平成20年報告数(滋賀県)のジアルジア症については、届出基準を満たしていないことが判明したので、削除しました。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第46週(11/9~11/15) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 246例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 36例	細菌性赤痢 6例	腸チフス 1例	四類感染症: A型肝炎 1例	四類感染症: つつが虫病 32例	日本紅斑熱 2例	レジオネラ症 8例	五類感染症: アメーバ赤痢 7例	梅毒 9例	ジアルジア症 1例	破傷風 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 12例	クロイツフェルト・ヤコブ病 4例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例	ウイルス性肝炎 1例	急性脳炎 13例	麻しん 4例
-------------	----------------	------------------------	----------	---------	----------------	------------------	----------	-----------	------------------	-------	-----------	--------	-----------------------	------------------	--------------------	------------	----------	--------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第41~46週、10/5~11/15)

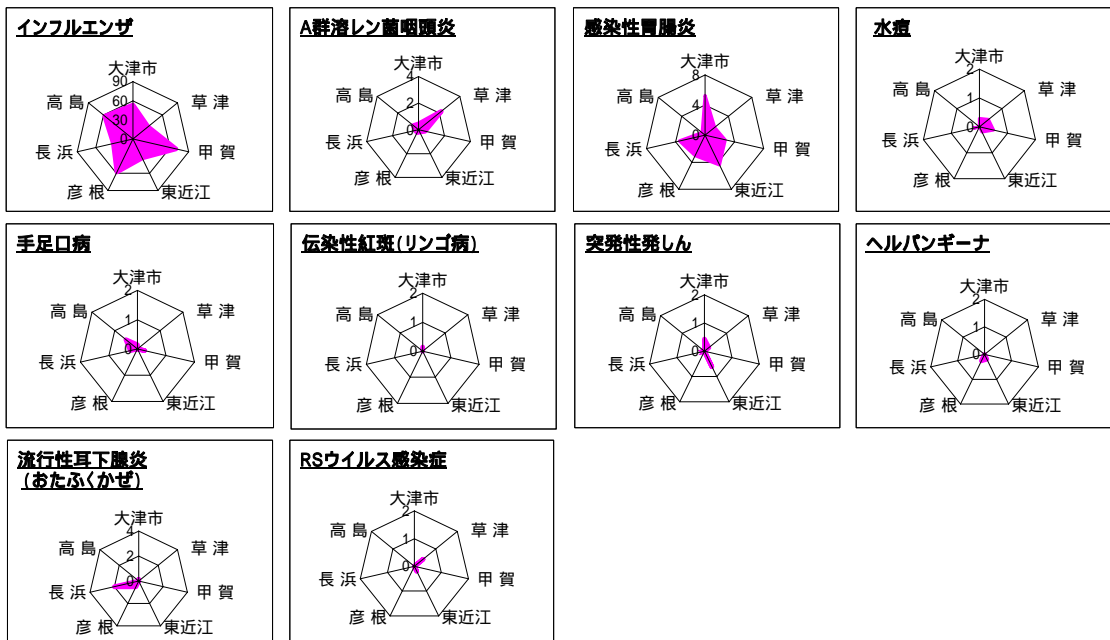
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	41週	42週	43週	44週	45週	46週	週					
	(10/5~)	(10/12~)	(10/19~)	(10/26~)	(11/2~)	(11/9~)	42	43	44	45	46	
インフルエンザ	9.73	16.02	29.13	44.42	50.06	46.33						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0.10						
咽頭結膜熱(プール熱)	0	0.06	0.03	0.03	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.29	0.65	0.65	0.58	0.61	0.65						
感染性胃腸炎	3.81	2.55	2.39	2.45	3.13	3.39						
水痘	0.19	0.42	0.32	0.29	0.68	0.26						
手足口病	0.26	0.16	0.19	0.10	0.10	0.13						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.03	0	0.13	0.06	0.03						
突発性発しん	0.39	0.16	0.29	0.32	0.19	0.26						
百日咳	0	0	0	0.10	0	0						
ヘルパンギーナ	0.29	0.35	0.03	0.03	0.03	0.06						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.39	0.19	0.39	0.35	0.19	0.35						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.13	0.38	0	0	0	0						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0.29	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0.43	0	0.14	0.29	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第46週、11/9～11/15)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	46.33	53.45	30.78	69.14	33.25	57.57	31.43	57.00	
RSウイルス感染症	0.10	0	0.40	0	0.20	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	0.43	2.20	0.50	0.20	0.25	0.25	0.50	
感染性胃腸炎	3.39	5.29	1.60	2.75	4.40	3.00	3.50	0.50	
水痘	0.26	0.29	0.40	0.50	0.20	0	0.25	0	
手足口病	0.13	0.14	0	0.25	0	0	0.25	0.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.26	0.43	0.20	0	0.60	0	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0.20	0.25	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.35	0.14	0	0	0	0.50	2.00	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

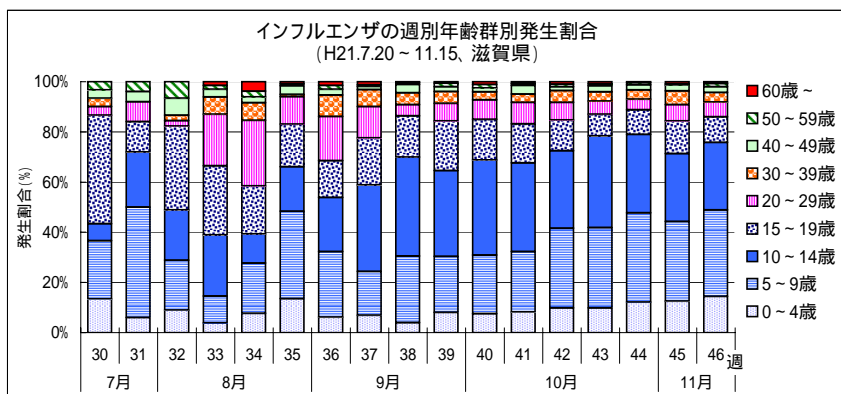


(3)今週の発生状況

インフルエンザの発生は、先週よりやや減少し、県全体の定点当たり患者数は46.33となっていますが、全ての保健所管内で定点当たり患者数は30.00以上となっています。

また、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は、先週多かった高島で減少し、草津でやや多くなっています。

インフルエンザの週別年齢群別発生割合(第30～46週、H21.7.20～11.15、滋賀県)

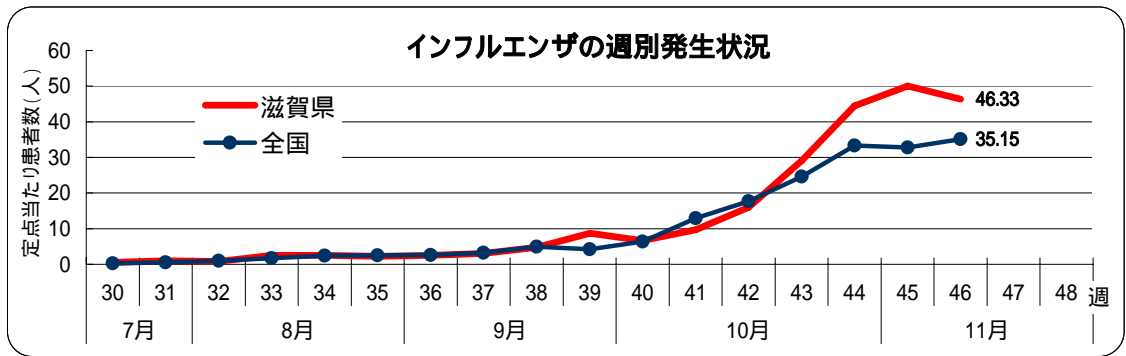


第30～46週における年齢群別発生状況は下記のとおりです。

0～4歳	11.3%
5～9歳	31.4%
10～14歳	30.1%
15～19歳	12.3%
20～29歳	6.5%
30～39歳	4.4%
40～49歳	2.2%
50～59歳	1.0%
60歳以上	0.8%

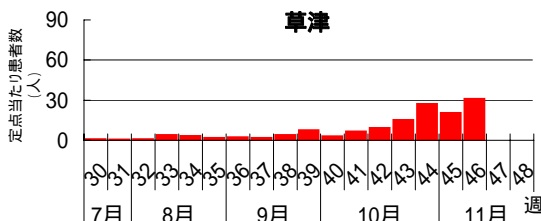
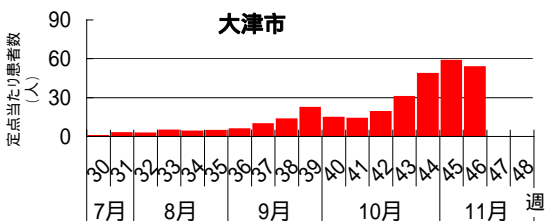
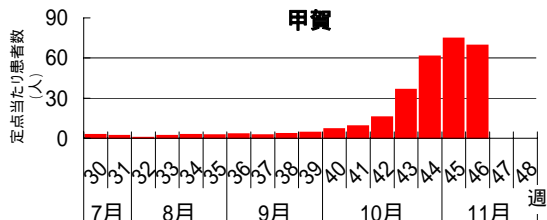
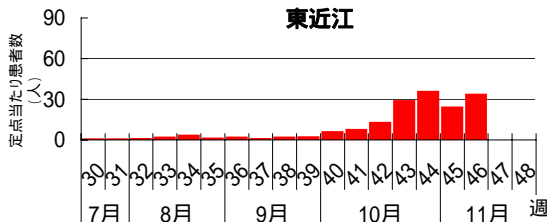
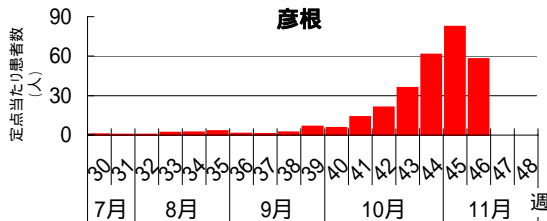
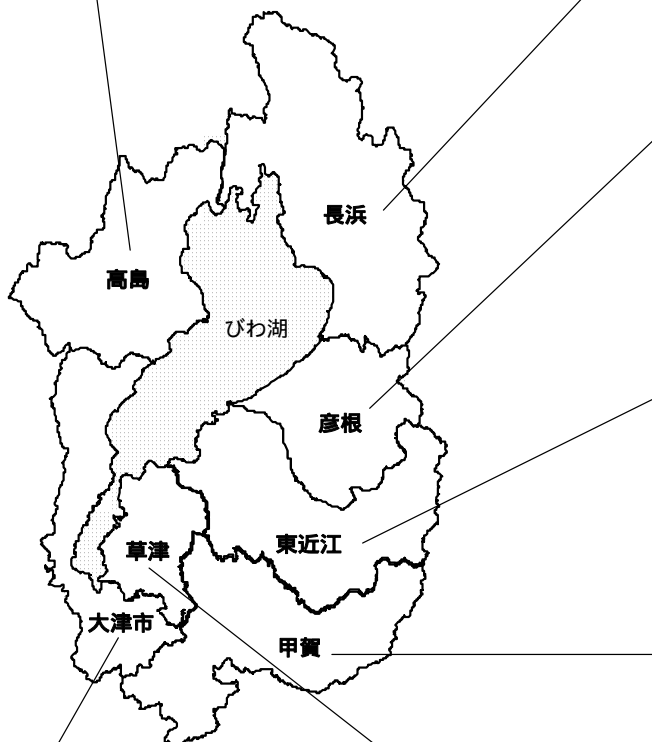
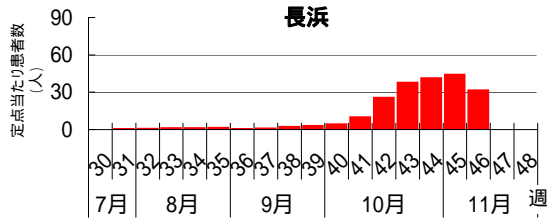
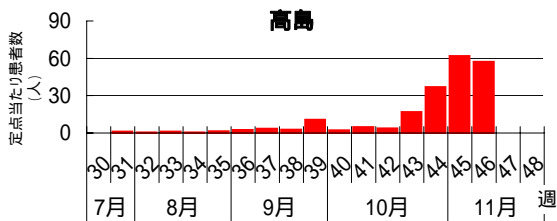
滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

滋賀県・週別発生状況

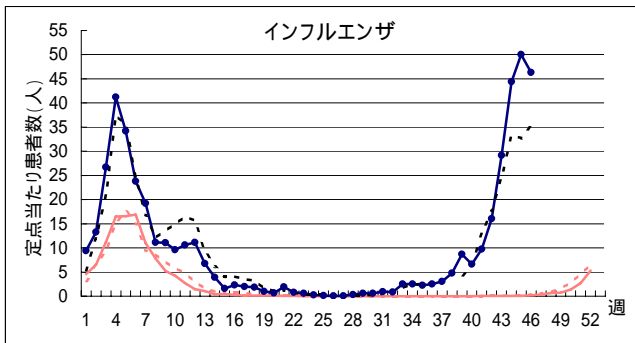


保健所管内別・週別発生状況

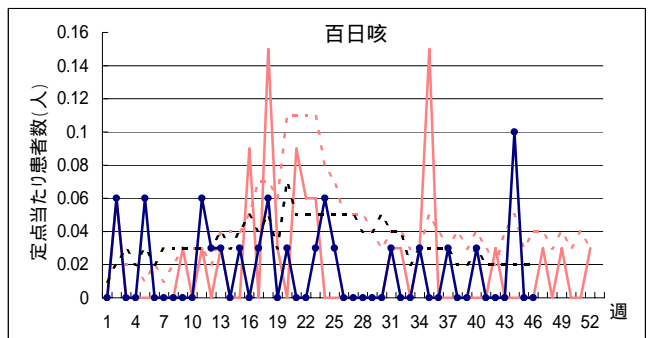
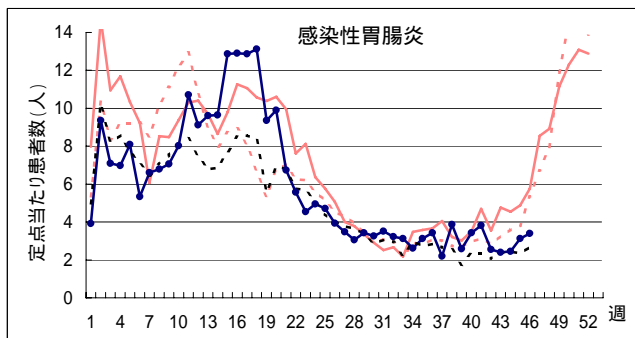
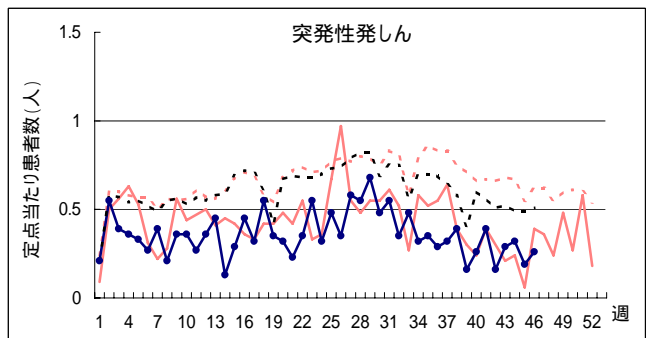
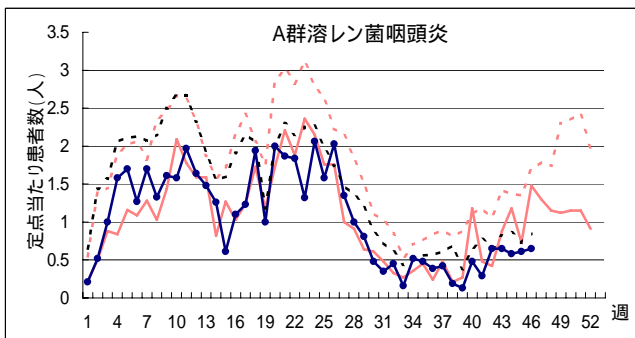
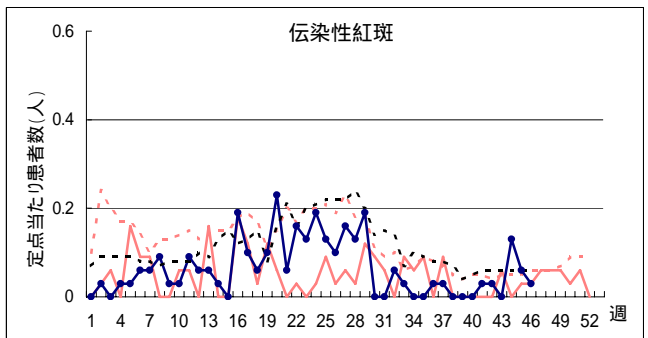
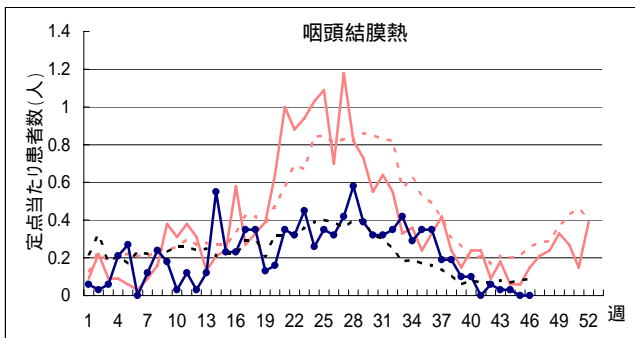
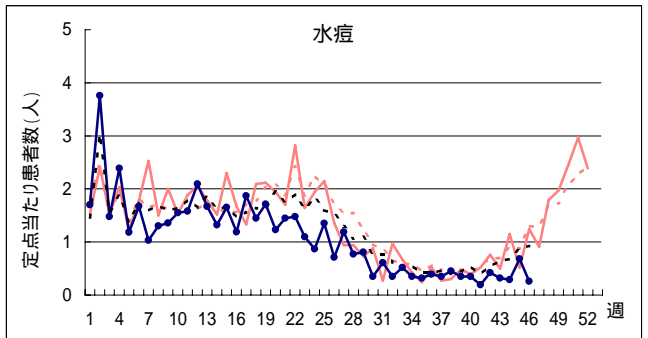
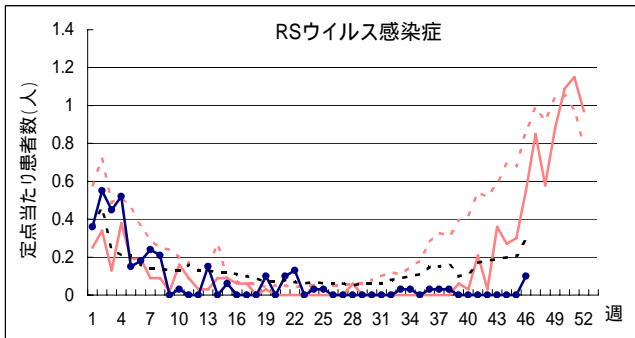
[トップページに戻る](#)



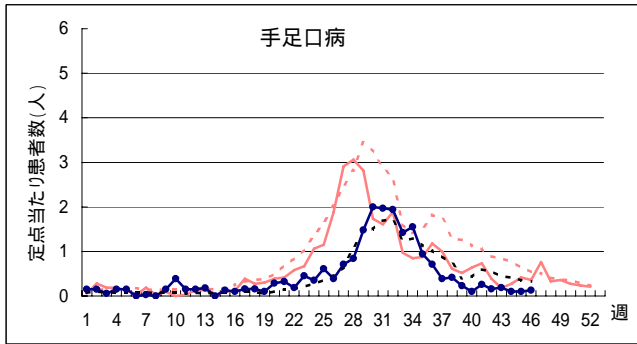
疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~46週、H20.12.29~H21.11.15)



H20 〔 滋賀 ————
 全国 ……
 H21 〔 滋賀 —●—
 全国 ……



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～46週、H20.12.29～H21.11.15)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H21
 { 滋賀 ————
 全国 ······

